



2013年7月9日

## おきぎん県内景況・確報 (2013年5月分)

**県内景況は、主要項目が底堅く推移しており拡大の動きがみられる。  
\*2013年1月以降、5ヵ月ぶりに上方修正\***

### ○個人消費関連

スーパー売上高・百貨店…スーパー売上高は「全店ベース」で前年同月を上回り、「既存店ベース」は下回る。百貨店売上高は前年同月を上回る。

家電卸出荷額…太陽光パネルの需要増加などにより前年同月を上回る。

新車販売台数…レンタカー需要などにより前年同月を上回る。

### ○建設関連

公共工事…公共工事請負金額は前年同月を上回る。

住宅投資・建設資材…着工戸数は前年同月を下回り、生コン、セメントはともに上回る。

### ○観光関連

入域観光客数…8ヵ月連続で前年同月を上回る。

主要大型ホテル稼働率…那覇市、西海岸、ビジネスの全てで前年同月を上回る。

観光施設入場者数…7ヵ月連続で前年同月を上回る。

### ○倒産・雇用

企業倒産…件数、負債総額ともに前年同月を下回る。有効求人倍率…前月より上昇。

### ○生産関連

鉱工業生産(4月)…前月より下落。

大口電力使用量…前年同月並みに推移。

○物価関連…消費者物価指数は前年同月を下回り、ガソリン(レギュラー、軽油)価格は上回る。

## 現場主義とお客様からの信頼

※お気づきの点、不明な点などがございましたら、下記までご連絡ください。

(株)おきぎん経済研究所

TEL:098-869-8711 FAX:098-869-2200

## おきぎん県内景況・確報(2013年5月分)

◎2013年5月 おきぎん「カトレア」景況図



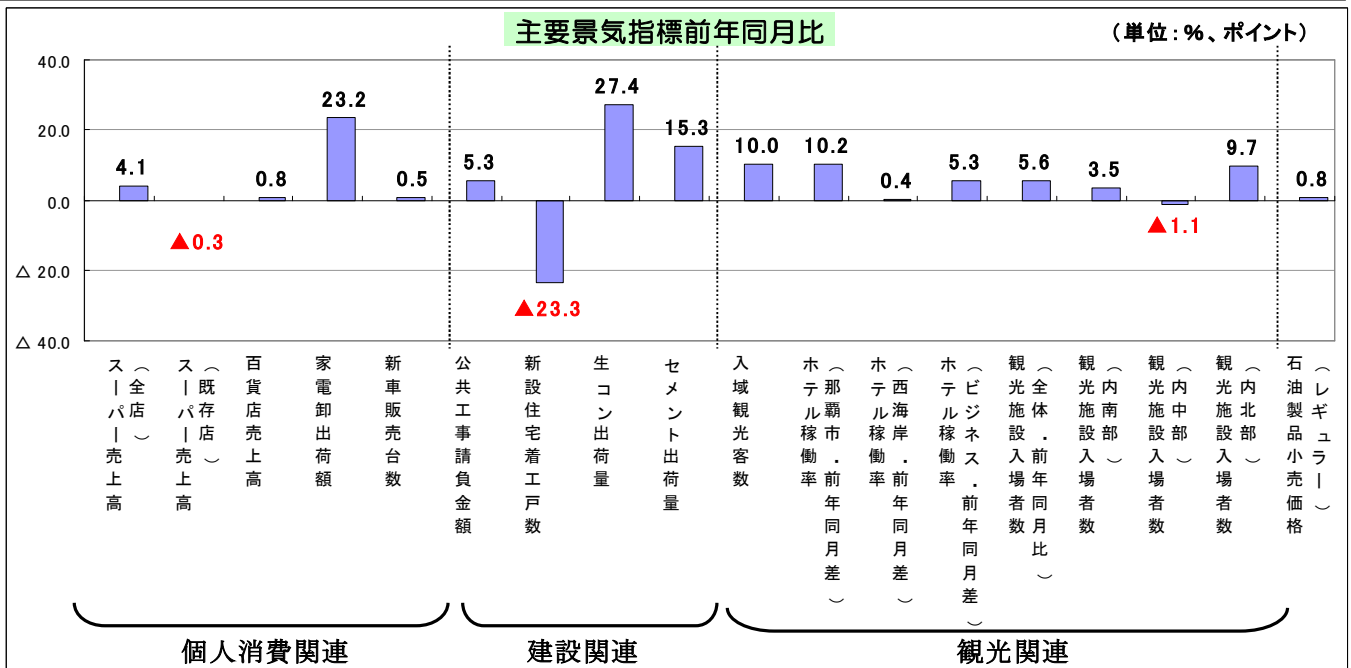
◎概況： 県内景況は、主要項目が底堅く推移しており拡大の動きがみられる。

5月の県内景況は、個人消費関連では、スーパー売上高は「全店ベース」が前年同月を上回り、「既存店ベース」は下回りました。百貨店売上高は衣料品（婦人服）や雑貨などが好調で前年同月を上回りました。耐久消費財である家電卸出荷額は太陽光パネル需要などにより前年同月を上回り、新車販売台数もレンタカー需要などにより上回りました。

建設関連では、公共工事請負金額は市町村や沖縄県発注による工事増加等から前年同月を上回りました。新設住宅着工戸数は前年同月を下回り、建設資材である生コン、セメントはともに上回りました。

観光関連では、入域観光客数は8ヵ月連続で前年同月を上回りました。ホテル稼働率は那覇市内主要ホテル、西海岸リゾートホテル、ビジネスホテル全てにおいて前年同月を上回りました。観光施設入場者数は前年同月を上回りました。

このような状況に鑑みると、「県内景況は、主要項目が底堅く推移しており拡大の動きがみられる」と今回上方修正しました。(2013年1月以降、5ヵ月ぶり)



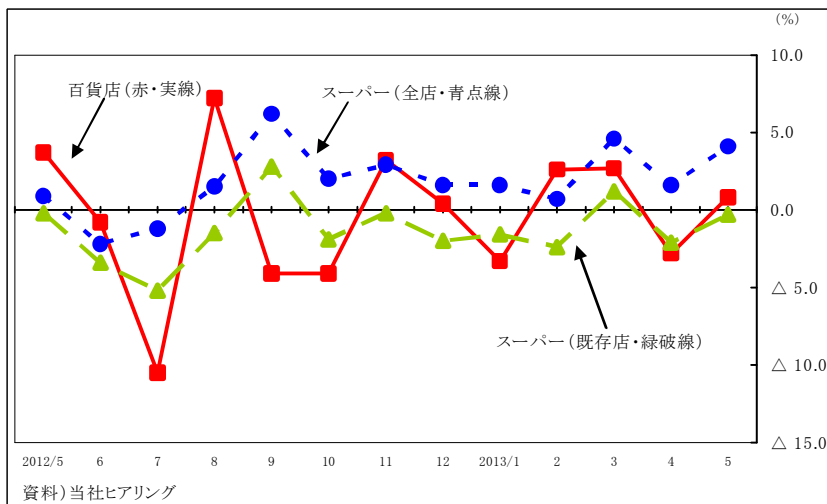


■個人消費：(やや良い)

①スーパー・百貨店売上高…スーパー売上高で全店ベースで前年同月を上回り、既存店ベースでは下回る。百貨店売上高は前年同月を上回る。

	スーパー売上額		百貨店
	全店	既存店	売上額
2012/5	0.9	△ 0.2	3.7
6	△ 2.2	△ 3.4	△ 0.8
7	△ 1.2	△ 5.2	△ 10.5
8	1.5	△ 1.5	7.2
9	6.2	2.8	△ 4.1
10	2.0	△ 1.9	△ 4.1
11	2.9	△ 0.2	3.2
12	1.6	△ 2.0	0.4
2013/1	1.6	△ 1.6	△ 3.3
2	0.7	△ 2.4	2.6
3	4.6	1.2	2.7
4	1.6	△ 2.1	△ 2.8
5	4.1	△ 0.3	0.8

注) 前年同月比

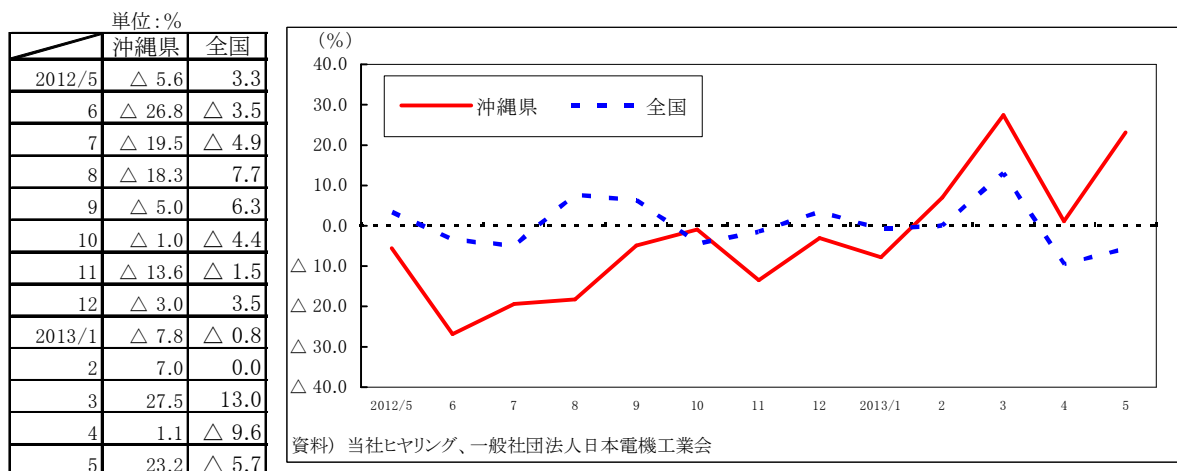


5月の個人消費関連では、**スーパー売上高**は、「全店ベース(前年同月比 4.1%増)」が10ヵ月連続で前年同月を上回りました。新規店舗の出店効果などにより、ウェイトの高い「食料品(同 3.9%増)」や「家庭用品(同 6.7%増)」が前年同月を上回りました。

「既存店ベース(同 0.3%減)」では2ヵ月連続で前年同月を下回りました。(以下、既存店ベース)品目別でみると、ウェイトの高い「食料品(同 0.03%増)」は、一部の青果物で相場価格の変動があるものの、堅調な需要などにより売上高が前年並みとなりました。家電を含む「家庭用品(同 1.1%増)」は、地デジ関連製品の需要低迷が続いているものの、エアコンや洗濯機などの白物家電の売れ行きが好調で前年同月を上回りました。「衣料品(同 6.5%減)」は、5月上旬の気温が昨年よりも低かったことなどから、夏物衣料の売れ行きが低調で前年同月を下回りました。

**百貨店売上高**は、衣料品(婦人服)や雑貨などの売れ行きが好調で、2ヵ月ぶりに前年同月を上回りました(同 0.8%増)。内訳をみると、ウェイトの高い「衣料品(同 2.6%増)」は、「婦人服(同 2.2%増)」が母の日に向けたセールなどが好調で前年同月を上回りました。一方、「紳士服(同 5.2%減)」や「子供服(同 6.1%減)」は昨年より気温が低く、夏物衣料の売れ行きが低調だったことなどから前年同月を下回りました。「雑貨(同 7.5%増)」は販売企画(婦人向けフェア)の開催時期の移動、「身の回り品(同 0.7%増)」はセール広告の強化などにより前年同月を上回りました。「食料品(同 4.6%減)」は、食料品催事が不調だったことなどから前年同月を下回りました。

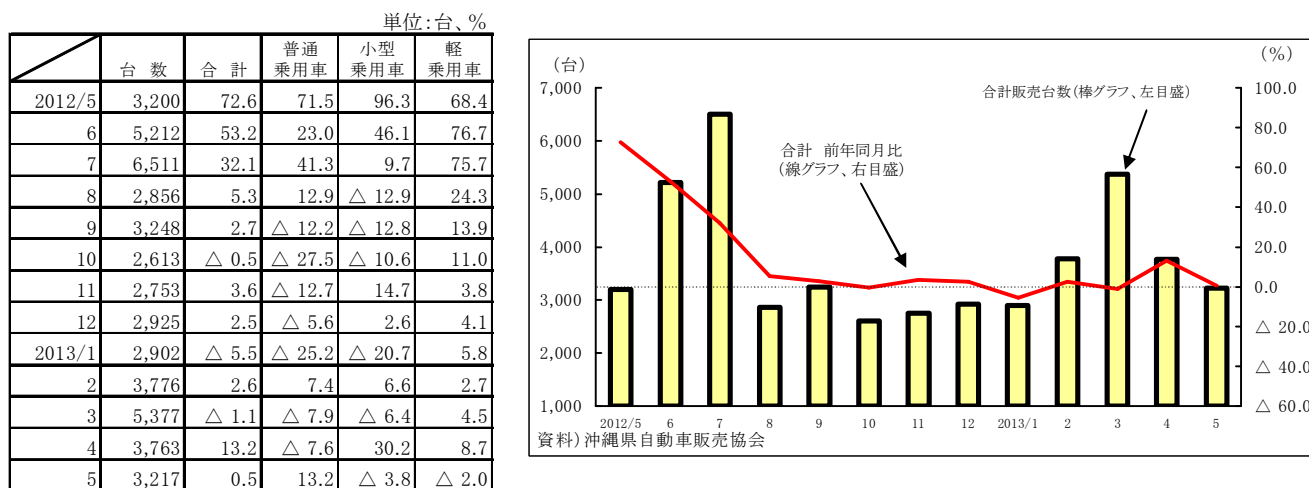
## ②家電卸出荷額…太陽光パネルの需要増加などにより前年同月を上回る。



注) 前年同月比

**家電卸出荷額**は、太陽光パネルの需要が堅調に推移したことなどにより、4ヵ月連続で前年同月を上回りました(同 23.2%増)。品目別でみると、「太陽光パネル(同 124.3%増)」は、2012年7月1日にスタートした「再生可能エネルギーの固定買取価格制度」の影響などにより需要が増加し、前年同月を上回りました。「冷蔵庫(同 19.4%増)」は、キャンペーンなどの販売促進活動が奏功し前年同月を上回りました。一方、「テレビ(同 26.3%減)」は、アナログ放送終了(2011年7月24日)以降続いている地デジ関連製品の需要低迷などにより前年同月を下回りました。「洗濯機(同 6.1%減)」や「エアコン(同 9.1%減)」も前年同月を下回りました。

## ③新車販売台数…レンタカー需要の増加などにより前年同月を上回る。



注) 前年同月比

注) 普通乗用車及び小型乗用車は登録車、軽乗用車は届出車の数値を表示。

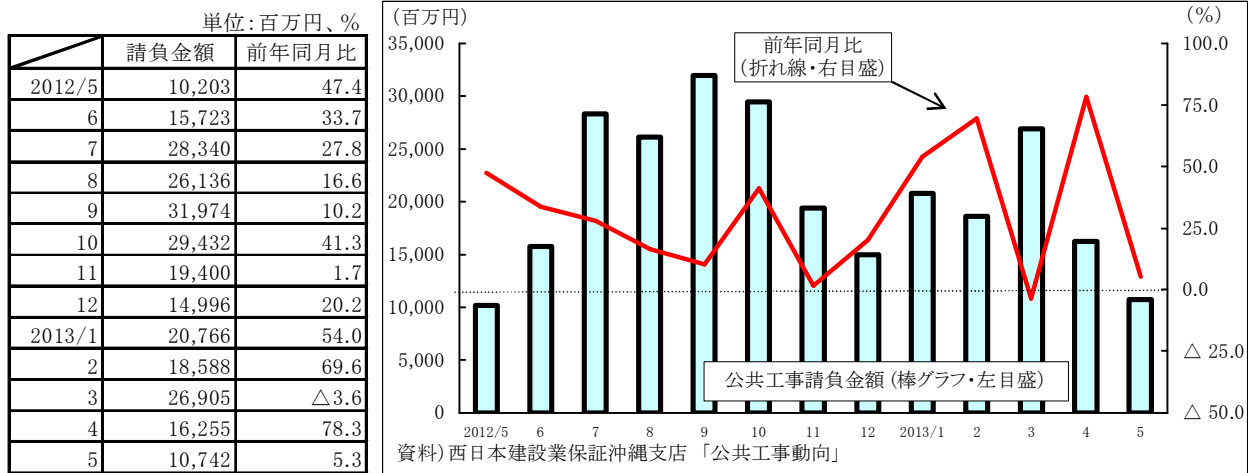
**新車販売台数**は、全体で 3,217 台となり、2ヵ月連続で前年同月を上回りました(同 0.5%増)。レンタカー需要などにより、「普通乗用車(同 13.2%増)」が 3ヵ月ぶりに前年同月を上回りました。一方、エコカー補助金制度終了(2012年9月21日)の影響などにより、「小型乗用車(同 3.8%減)」が 2ヵ月ぶり、「軽乗用車(同 2.0%減)」は 20ヵ月ぶりに前年同月を下回りました。

※普通乗用車及び小型乗用車は登録ベース、軽乗用車は届出ベースの数値を合算。



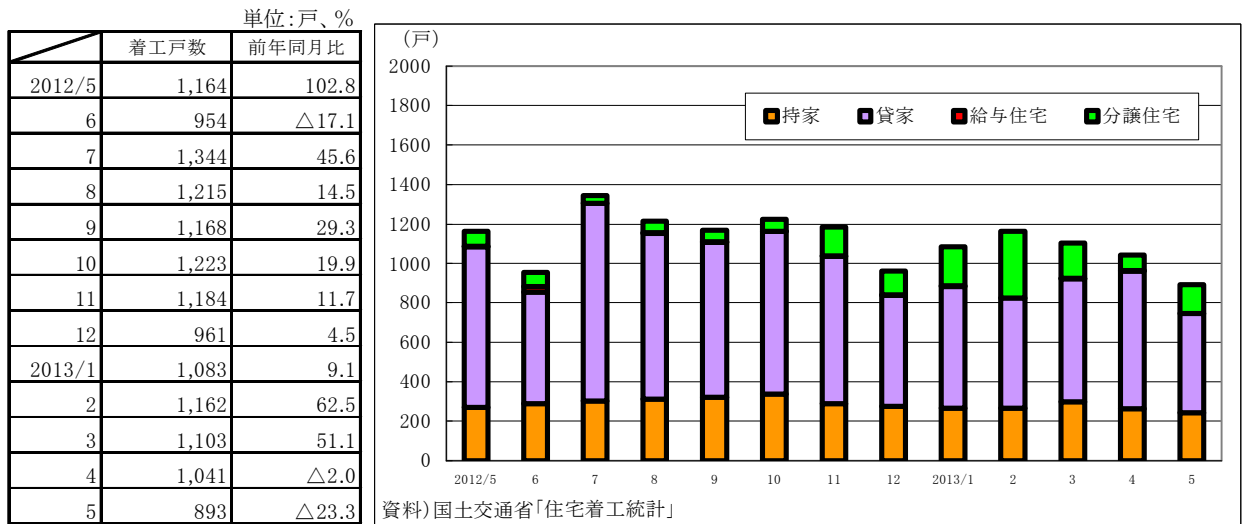
■ 建設関連: (やや良い)

①公共工事…公共工事請負金額は前年同月を上回る。



5月の**公共工事請負金額**は、前年同月比5.3%増の107億4,200万円となりました(2ヵ月連続増)。発注者別でみると、「独立行政法人等(同45.2%減)」や「その他の公的団体(同16.3%減)」は前年同月を下回ったものの、「国(同6.1%増)」は那覇港(浦添ふ頭地区)臨港道路関連工事、「沖縄県(同8.7%増)」は中部地区での浄化センター関連工事、「市町村(同22.2%増)」は小学校屋内運動場新改築工事などの大型工事により前年同月を上回りました。

②住宅投資・建設資材…着工戸数は前年同月を下回り、生コン、セメントは上回る。



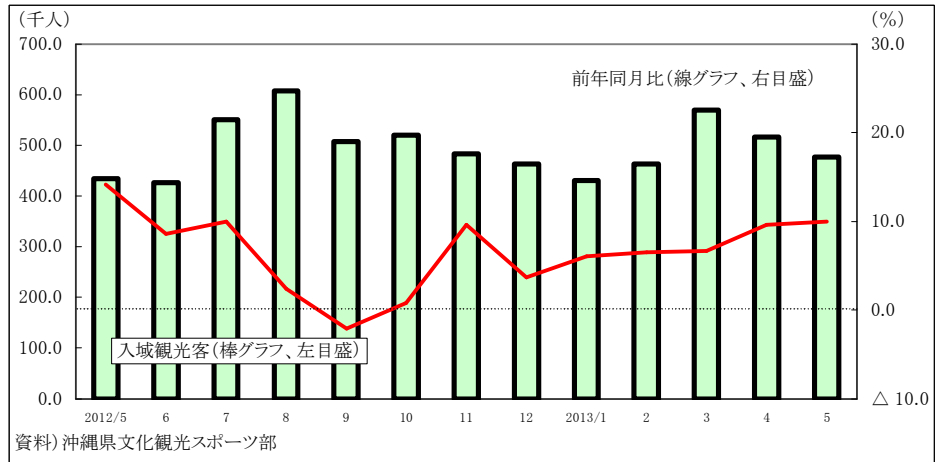
5月の**新設住宅着工戸数**は、全体で前年同月比23.3%減の893戸と2ヵ月連続で前年同月を下回りました。利用別戸数をみると、「分譲住宅(同87.2%増)」が前年同月を上回ったものの、ウェイトの高い「貸家(同38.3%減)」や「持家(同9.3%減)」が下回りました。**建設資材関連**では、**生コン**の出荷量は27.4%増加し、3ヵ月連続で前年同月を上回りました。内訳では、公共工事向け出荷が前年同月より29.6%増加し、民間工事向け出荷も26.6%増加しました。**セメント**の出荷量は15.3%増と2ヵ月連続で前年同月を上回りました。



■観光関連： (やや良い)

①入域観光客数…8カ月連続で前年同月を上回る。

単位:千人、%		
	入域観光客	前年同月比
2012/5	434.3	14.2
6	426.4	8.6
7	550.4	10.0
8	607.2	2.4
9	507.3	△2.1
10	519.7	0.8
11	483.1	9.6
12	463.4	3.7
2013/1	429.7	6.1
2	463.2	6.5
3	568.9	6.7
4	516.3	9.6
5	477.6	10.0



※外国客は特例上陸者数を含む

5月の入域観光客数は、前年同月より10.0%(43,300人増)多い477,600人となり、円安効果などから国内外ともに増加し8カ月連続で前年同月を上回りました(5月としては過去最高)。内訳をみると、「国内客(同6.1%増)」は新石垣空港の開港効果などにより前年同月を上回りました(8カ月連続)。

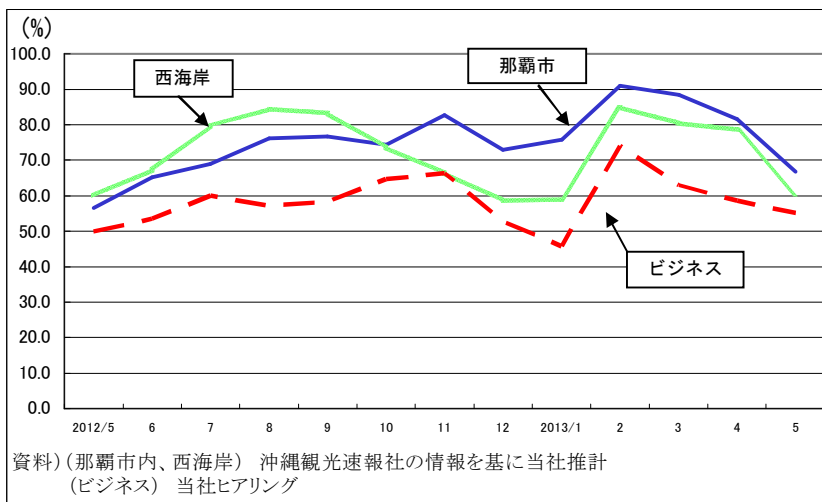
他方、「外国客(同47.4%増)」は、59,400人(19,100人増)となり、4カ月連続で前年同月を上回りました。「中国本土(同37.5%減)」は弱い動きが続くものの、航空路線の拡充や大型クルーズ船の寄港などにより「台湾(同51.7%増)」「韓国(同3.5倍増)」「香港(同93.6%増)」は前年同月を上回りました。

※2013年4月より外国客は特例上陸者(クルーズ船乗務員)を除いた数値も同時に公表。本表ではデータの連続性を勘案し特例上陸者数を含む数値を掲載。

※特例上陸者を除く2013年5月実績=全体465,200人(同9.8%増)、外国客47,000人(同58.2%増)、国内客は変わらない。

②ホテル稼働率…那覇市内主要ホテル、西海岸、ビジネス全てにおいて前年同月を上回る。

	稼働率		
	那覇市	西海岸	ビジネス
2012/5	56.6	60.0	49.9
6	65.2	67.2	53.5
7	69.0	79.8	60.0
8	76.3	84.4	57.1
9	76.7	83.2	58.4
10	74.4	73.6	64.7
11	82.7	66.5	66.4
12	72.9	58.6	52.7
2013/1	75.8	59.0	45.8
2	91.0	84.9	74.0
3	88.5	80.5	63.0
4	81.7	78.6	58.5
5	66.8	60.4	55.2



\*那覇市内8ホテル、西海岸11ホテル、ビジネス7ホテル

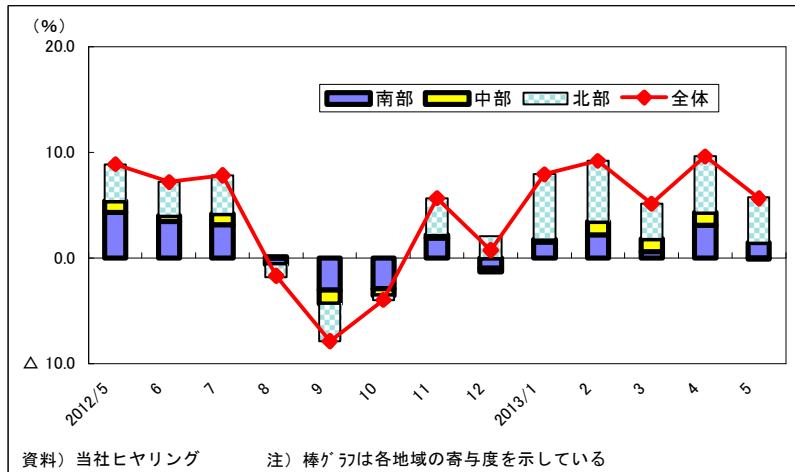
県内ホテル稼働率は、那覇市内主要ホテルが66.8%と10.2ポイント上昇(9カ月連続)、西海岸リゾートホテルが60.4%と0.4ポイント上昇(4カ月連続)、那覇市内ビジネスホテルが55.2%と5.3ポイント上昇(15カ月連続)しました。

③観光施設入場者数…7ヵ月連続で前年同月を上回る。

単位: %

	入場者数(前年同月比)			
	全体	南部	中部	北部
2012/5	8.9	10.7	7.6	7.6
6	7.2	8.5	4.3	6.8
7	7.8	9.5	8.9	6.6
8	△ 1.7	△ 1.8	1.0	△ 2.3
9	△ 7.9	△ 8.5	△ 11.0	△ 6.8
10	△ 4.0	△ 6.7	△ 5.1	△ 1.0
11	5.6	4.3	2.0	8.3
12	0.7	△ 2.2	△ 2.6	4.9
2013/1	7.9	3.7	1.5	13.7
2	9.2	5.5	9.6	12.1
3	5.1	1.5	8.6	7.4
4	9.6	7.8	8.1	11.7
5	5.6	3.5	△ 1.1	9.7

\*調査対象施設数=南部6、中部6、北部5施設



**観光施設入場者数**は、全体で前年同月より5.6%増加(7ヵ月連続)しました。地域別にみると、南部にある観光施設は同3.5%増と5ヵ月連続、北部は同9.7%増と7ヵ月連続で前年同月を上回り、中部は同1.1%減と5ヵ月ぶりに下回りました。

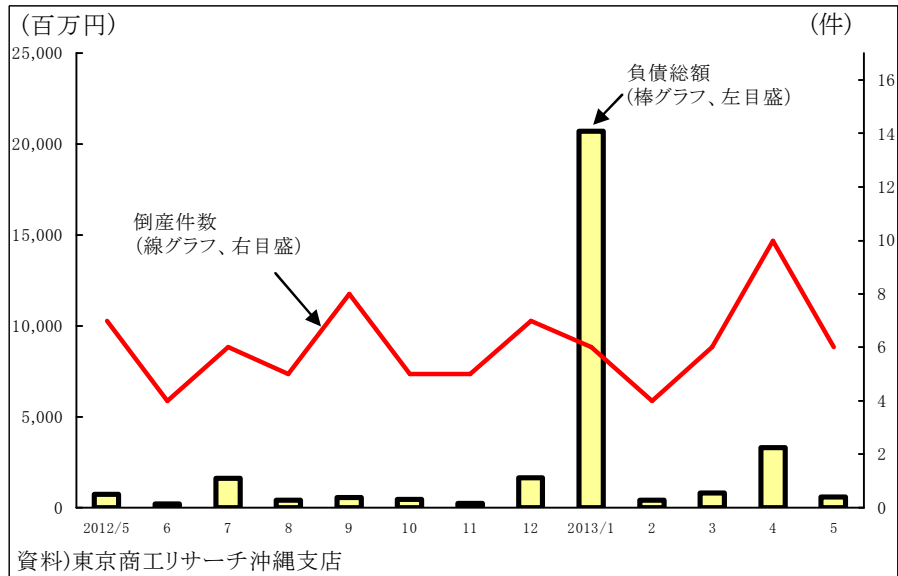


■企業倒産： (ふつう)

企業倒産…件数、負債総額ともに前年同月を下回る。

単位: 百万円、件

	負債総額	倒産件数
2012/5	729	7
6	207	4
7	1,630	6
8	405	5
9	578	8
10	428	5
11	244	5
12	1,648	7
2013/1	20,703	6
2	406	4
3	813	6
4	3,295	10
5	603	6



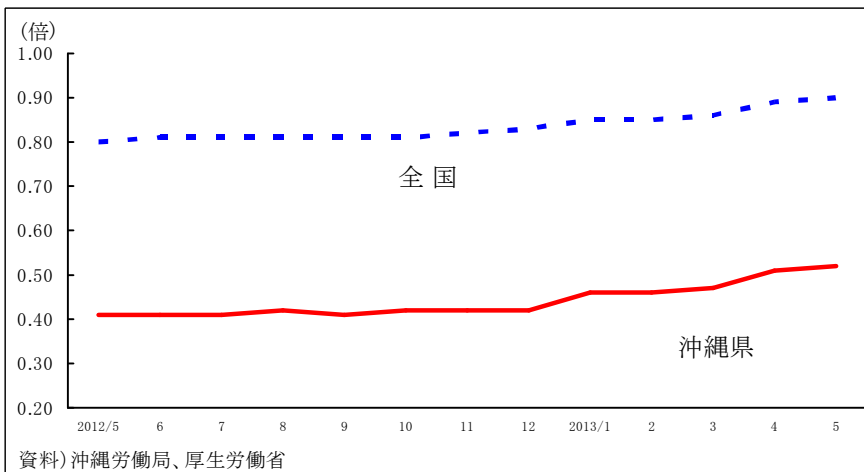
5月の企業倒産件数は、6件(うち、10億円以上の大型倒産が0件、1億円以上の大口倒産4件)発生し前年同月より1件少なくなりました。負債総額は6億3百万円と前年同月より17.3%減少しました。

■雇用関連： (ふつう)

有効求人倍率…前月より上昇。

単位: 倍

	沖縄県	全国
2012/5	0.41	0.80
6	0.41	0.81
7	0.41	0.81
8	0.42	0.81
9	0.41	0.81
10	0.42	0.81
11	0.42	0.82
12	0.42	0.83
2013/1	0.46	0.85
2	0.46	0.85
3	0.47	0.86
4	0.51	0.89
5	0.52	0.90



注) 季節調整済  
注) 季節調整法は、センサス局法Ⅱ(X-12-ARIMA)による

5月の雇用状況は、月間有効求人数(季節調整値)は前月比2.6%増の17,029人に対して、月間有効求職者数(同上)は同0.2%増の32,492人となり、有効求人倍率(季節調整値)は0.52倍と前月より0.01ポイント上昇しました。完全失業率(原数値)は前年同月より1.8ポイント低下し、6.5%となりました。

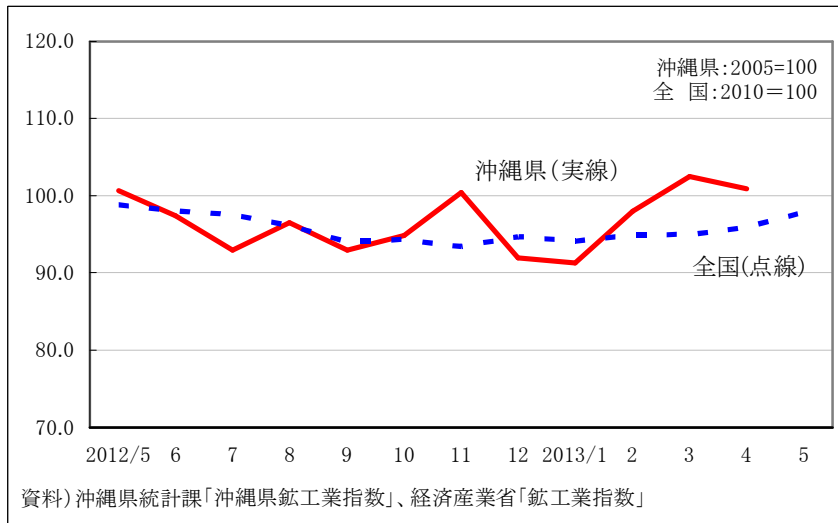




■ 鉱工業・大口電力関連: (ふつう)

① 鉱工業生産指数…前月より下落。

	沖縄県	全国
2012/5	100.7	98.8
6	97.4	98.0
7	92.9	97.5
8	96.5	96.1
9	92.9	94.0
10	94.8	94.3
11	100.4	93.4
12	91.9	94.7
2013/1	91.3	94.1
2	98.0	94.9
3	102.5	95.0
4	100.9	95.9
5	-	P 97.8



注1) 数値は季節調整済指数

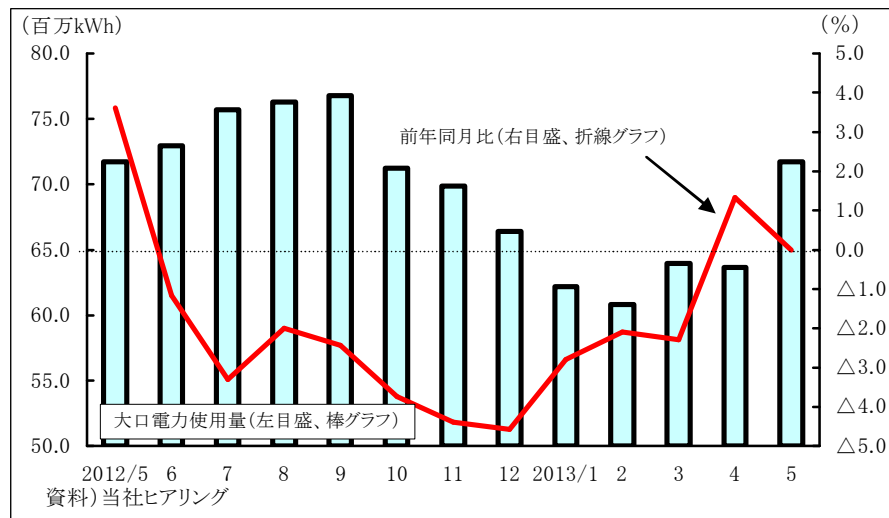
注2) 基準は「2005年=100(沖縄県)」、「2010年=100(全国)」となっている。

鉱工業生産指数(県内:4月)は、前月より1.6%下落し、100.9となりました。産業別にみると、「木材・木製品工業(同 28.4%減)」や「石油製品工業(同 22.5%減)」等の業種で前月を下回りました。

② 大口電力使用量…前年同月並に推移。

単位: 百万kWh、%

	大口電力 使用量	前年 同月比
2012/5	71.7	3.6
6	73.0	△1.2
7	75.7	△3.3
8	76.3	△2.0
9	76.8	△2.4
10	71.3	△3.7
11	69.9	△4.4
12	66.4	△4.6
2013/1	62.2	△2.8
2	60.8	△2.1
3	64.0	△2.3
4	63.7	1.3
5	71.7	0.0

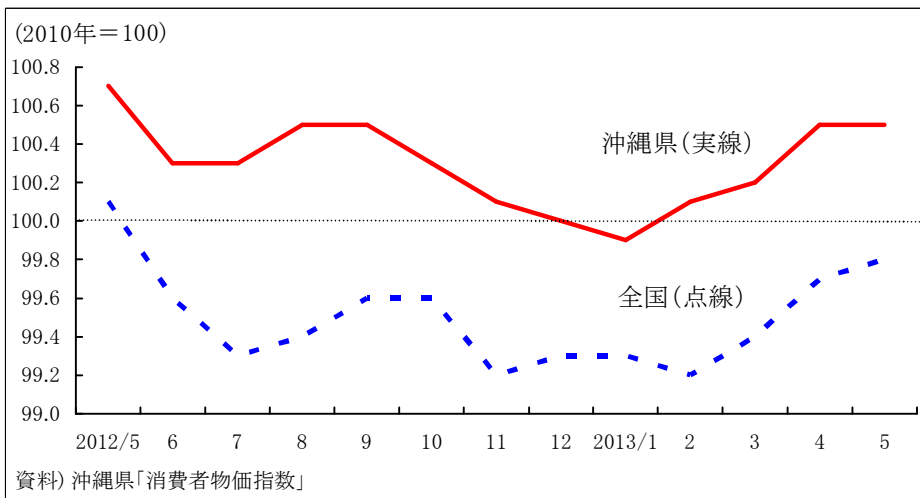


5月の大口電力使用量は、「化学工業(同 15.3%減)」が前年同月を下回ったものの、「窯業土石製造業(同 15.2%増)」や「鉄鋼製造業(同 16.5%増)」などが生産量の増加などで前年同月を上回り、全体で前年同月並みに推移しました。

■物価関連:  (ふつう)

①消費者物価指数…前年同月を下回る。

	沖縄県	全国
2012/5	100.7	100.1
6	100.3	99.6
7	100.3	99.3
8	100.5	99.4
9	100.5	99.6
10	100.3	99.6
11	100.1	99.2
12	100.0	99.3
2013/1	99.9	99.3
2	100.1	99.2
3	100.2	99.4
4	100.5	99.7
5	100.5	99.8



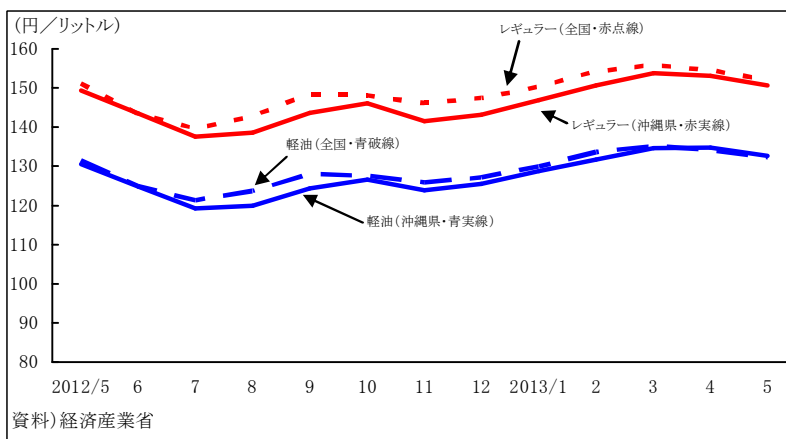
注) 基準年変更(2005→2010)に伴い、当データも改訂を行っている。

5月の消費者物価指数(総合)は、前年同月比0.2%下落し、100.5となりました。内訳をみると、電気代を含む「光熱・水道(同1.2%増)」が上昇したものの、生鮮野菜などを含む「食料品(同0.5%減)」や「教養娯楽(同2.1%減)」等が全体を押し下げました。

②ガソリン小売価格…前年同月を上回る。

単位:円/リットル

	沖縄県		全国	
	レギュラー	軽油	レギュラー	軽油
2012/5	149.4	130.6	151.1	131.4
6	143.4	124.7	143.3	124.9
7	137.6	119.2	139.6	121.3
8	138.6	119.9	142.7	123.6
9	143.6	124.2	148.5	128.0
10	146.0	126.5	148.1	127.6
11	141.4	123.8	146.0	125.9
12	143.2	125.4	147.4	127.2
2013/1	146.8	128.7	150.3	129.9
2	150.6	131.7	154.2	133.6
3	153.7	134.6	155.8	135.2
4	153.1	134.7	154.5	134.1
5	150.6	132.7	152.1	132.2



注) 各月次データは、週次調査結果の平均値を用いている。

5月のガソリン小売価格等において、県内におけるレギュラー小売価格は前年同月より0.8%(消費税込価格)上昇し、軽油小売価格も前年同月より1.6%(消費税込価格)上昇しました。